

名戸ヶ谷ビオトープだより

第 76 号 2019 年冬号

<http://nadogaya-biotope.org/>

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行

発行責任者：篠崎 将 Tel/Fax 04-7173-6353

第 17 回定期総会開催



篠崎会長挨拶

2019 年 1 月 26 日（土）11 時～11 時 50 分
晴れわたった天気の中、名戸ヶ谷ふるさと
センターにて定期総会が開催されました。

藤平司会により開会し、まず篠崎会長から
の挨拶で無事に 1 年間運営できた事の感謝と
ビオトープへ支援をいただいた柄澤さんが都
合で今後活動できないとの報告がありました。
続いて来賓挨拶は、柏市環境政策課高橋主幹
からビオトープ保全活動において感謝の言葉
がありました。そして、小笠原議長を選出し
総会成立要件の 26 名（委任状 10 名）出席を
確認し議案審議に入りました。

第 1、2 号議案

全体の 2018 年活動報告と 2019 年計画を小
笠原副会長、稲作活動 小笠原副会長、生き
もの保全及び調査 藤平副会長、植物保全

山村幹事、広報活動 小笠原副会長がそれぞ
れ配布資料に基づき説明し、終えて質疑と意
見を求め拍手により承認されました。

続いて佐藤幹事による会計の決算報告と予
算案の提案、村川監事による監査報告があり、
拍手により承認されました。

第 3 号議案 役員改選

全員の拍手で承認されました。副会長 1 名
となり減員で全員に希望者を募りましたが、
申し出ではありませんでした。

以上によりすべての議案が承認され無事に
閉会となりました。

終えて 12 時過ぎから懇親会で昼食弁当をと
りながら、会員同士和やかに歓談し親睦を図
りました。そして午後 1 時には全て終了し、
各自弁当ゴミを持ち帰りでゴミ削減に努めま
した。今年 1 年よろしくお願いします。

（藤平 三郎）



懇親会で和やかに歓談中

会長就任にあたり

小笠原 智

はじめに、発足以来 16 年間「ビオトープを育てる会」を指導していただいた篠崎前会長に心より御礼申し上げるとともに、今後ご協力をお願いします。

私も 16 年間稲作を中心にビオトープの活動に参加してきましたが、会員皆様の力添えがあつての田んぼ作業でした。今後皆様のご協力のもと、生き物、植物はじめビオトープ全体の保全活動に努めていきたいと思ひます。

宮城県北部の里山と水田に囲まれた農家で育ち、農作業を親から手伝わされたことがビオトープでの稲作活動に役立つとは思つてもみなかったことでした。自然や生き物も大好きですが、木道補修、借用している木村さん作業場の補修など仕事上（建築）での知識も役立たせることができ、楽しい時間を過ごしてきました。作業をしていると散歩やザリガニ釣りの方、保育園の幼児や先生、近所の通りがかりの方々とこの付近の昔話、生きものの発見、手作業での米作り、以前の湧水量などについて話ができ、皆さんがビオトープをこのまま残してほしいとの熱い言葉をくれることも励ましになっています。

会員数も減少し高年齢化していますが、無理をせず、できることをみんなで力を合わせて進めていきたいと思ひます。ホームページも息子がもう少し分かりやすいようにリニューアルしてもよいかと協力してくれたので会員募集案内も追加掲載しました。色々な方法で PR してビオトープを知ってもらい、体験してもらい多くのリピーターを作ること、現地を常にベストな状態に保持していくことが会員の増員、ビオトープの長期継続にも繋がると考えます。

最後にビオトープ用地の地主の皆さんは勿論ですが、活動に欠かせない倉庫や敷地を提供していただいている木村さんには改めて御礼を申し上げます。

会員皆様と柏市環境政策課のご支援があつての名戸ヶ谷ビオトープを育てる会ですので、今後よろしくお願い申し上げます。

以上



今年 2 月の雪景色



もうすぐ春です

ビオトープの春の植物

例年になく寒かった冬も終わり、いよいよ春の訪れが感じられる毎日です。3月、4月、5月はビオトープの植物が一番輝くころです。小さな花をみいっぱい付けて自己主張しているように見えます。

作業の合間に、散歩の途中に足元の草花をお楽しみください。

(山村 和子)



オオイヌノフグリ

ケキツネノボタンとタガラシは同じキンポウゲ科でよく似ています。違いを確かめてください。

ケキツネノボタン

花が大きく、葉は切れ込み、実が丸い。畦に沢山あります。

タガラシ

花は小さく、葉の切れ込みがない。実は細長い。うるち 2 番の木道の下で咲きます。



ケキツネノボタン



タガラシ

キランソウ

地面にへばりつくように広がっているので「地獄の釜の蓋」とも言われています。4 月初めにメダカ池の近くに見られます。小さいのでよく探してみてください。



キランソウ



オオジシバリ



カラスノエンドウ

ヒメヘビイチゴ

湧水池のそばに自生しています。湿地の木道際に移植した株も育っています。オヘビイチゴは花が大きく葉が5枚手の平のような形をしています。



オヘビイチゴ



ヒメヘビイチゴ



ノミノフスマ

ニホンアカガエル卵塊観察会

2月16日(土) 9:30～10:30 晴れ 気温 11℃

例年と同時期アカガエル卵塊観察会、第1回目を実施しました。会員14名と多い参加でした。当初暖かな日が続き7日(木)に8個の卵塊を確認したことから、1週間前倒しの2月9日(土)からの実施を予定しました。これが降雪の為に急きょ中止で、2月16日(土)からとなりました。8日(金)の午後には小川さんからAゾーンもち田地で46個と急増のメール報告があった次第。

当日の結果はAゾーンで計56個、Bゾーン

三角池他で計12個 総計68個でした。主な内訳はAゾーンもち田で36個、Bゾーン三角池で9個等です。

終わってから小川さん、篠崎さんよりアカガエル、ヒキガエルの資料から生態、絶滅危惧種等の詳しい説明を受け、会員からのいろいろ質問もありました。

次回は2回目23日(土)、3回目3月2日(土)で、掲示板にもポスター掲示し、市民の参加を期待したいです。暖かさと共にこれから一気に増えてくると思います。(藤平 三郎)



もち田の卵塊



三角池で観察中



Aゾーンを回り観察中



篠崎さん、小川さんからの説明

月例活動状況のお知らせ

2018年12月から2019年2月までの会員の月例活動状況をお知らせします。

12月15日(土)

会員15名参加のもと、Bゾーンの枯草除去作業やAゾーンの圃場の畦の枯草除去等実施しました。さらにAゾーン池の側のヒメヘビイチゴ保護の為、周辺の雑草の刈り取り作業を行いました。



Bゾーンの葦の除去風景



ヒメヘビイチゴ周辺の雑草の刈り取り風景

1月19日(土)

15名の会員の参加がありました。例年の如く、ニホンアカガエルの産卵に備えBゾーンのカエルの産卵池の整備やAゾーンの畦の付近のニホンアカガエルの産卵しそうな場所の整備を行いました。その他、ザリガニ釣り場の整備や、圃場の畦の整備を実施しました。



Aゾーン畦の整備風景



Bゾーン蛙の産卵場所野整備後の風景

2月19日(土)

この時期、ニホンアカガエルの卵塊が見られる時期で、会員15名でそれぞれの場所で卵塊の発生数の確認を行い、この日は68個の卵塊を確認しました。今後も毎週土曜日発生数の確認を実施していく予定です。

(藺田 廣満)



ニホンアカガエルの卵塊個数調査風景



圃場の卵塊確認

新役員の自己紹介

鈴木 行雄

今回、総務担当の幹事として承認いただきました鈴木行雄と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

会員になりましたのは3年前のことです。

生涯大学校（江戸川台にある県立のシルバー大学校です。）でのボランティア活動のテーマに、ここ「名戸ヶ谷ビオトープを守る会」を選び、仲間と共に1年間活動を体験したのがきっかけでした。みんな農業の経験などまったくない素人ですから、全てが一からのスタートでした。

ただ、その中でわかったことは、このビオトープを存続させることの大きな意義と会員の皆さんの熱意でした。

体験すればするほど、また考えれば考えるほど問題はたくさんあります。しかし、まずは高齢化していくこの組織を維持しなければならないと考え、幹事を引き受けることにしました。一つでも新しい企画を立ち上げ、新会員を確保できたらと思います。

会員の皆様のご協力をどうかよろしくお願いいたします。

しめ縄作り（2018年）

年末恒例となっている「しめ縄作り」を今年は12月22日（土）に予定しておりましたが午前中雨の予報で急遽翌日に順延して10：00～11：30、日向ぼっこをしながら行いました。

今年は5名参加されました（お子さん1名）。縄織りは全くの初めての方はなかなかできませんでしたが、相互に教え合いをすることで、最後には自家用の輪飾りができ、紙垂（シデ）を付けて持ち帰られました。参加されたお子さんにとっては貴重な体験をされたようでした。（影山 賢三）



3～5月の活動予定

- 3月 ● 初旬 ニホンアカガエル卵塊調査
- 16日（土）：3月定例活動
- 4月 ● 中旬 水田準備（畦補修、切り株踏み込み等）
- 20日（土）：4月定例活動、元肥散布
- 5月 ● 初旬 田植え、名戸ヶ谷小児童田植え
- 18日（土）：5月定例活動
- 下旬 田の草取り

注）詳細の日時と定例活動の具体的な作業内容等については事前に担当幹事からメールリングにてお知らせします。

名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏駅東口より東武バス（5番乗り場）「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車
面積：約4,400㎡ 湿性生物：57種 生きもの：161種（内、千葉県指定保護生物26種）

（2013年、年間を通じて観察した生きものの種類）